

商 工 会 報

あ ち

第 29 号

発行 阿智村商工会
43-2241
編集 会報編集委員会
印刷 龍共印刷(株)



ながびく 緊急対策を村へ要望 不況 ～戦後最悪～

要望によって実現した緊急支援資金要綱

阿智村中小企業緊急支援資金貸付要綱

(目 的)

第1条 この要綱は、経済の急激な変動による中小企業者の一時的な経営の安定を図るため緊急支援資金の貸付を行なうことを目的とする。

(貸付条件等)

第2条 緊急支援資金の貸付条件は次の通りとする。

貸付資金の内容	運転資金
貸付限度額	50万円以上100万円以内
貸付利率	村長の定める金額 3.8%(自己負担)
返済方法	3ヶ月据置36ヶ月以内分割償還
保証人	2人

2 前項で定める外必要なことは、阿智村商工観光業振興条例(平成3年条例第14号)の規程を準用する。

(適用期間)

第3条 この要綱は、平成5年12月20日より村長が定めた期間に限って適用する。

附 則

この要綱は、平成5年12月20日より施行する。

長引く不況の中、村内の企業は、かつてない状況に遭遇しております。

国、県でも、この不況に対して経営面、金融面、雇用面等で施策を講じておりますが、はかばかしくありません。

商工会でも、管内の企業が一企業たりとも、落ちこぼれることのないよう、村へ四つの要望をいたしました。

一、現行の村制度資金の貸付期間延長

二、緊急経営支援資金の創設

三、「村内企業への優先発注」「下請け取引の適正化への協力」「積極的な雇用確保への努力」を村長名で、村内大手企業へ要望

四、固定資産税のうち償却資産(機械、工具、備品)の税率軽減

この結果、二項、三項については、早速対処していただきました。一項については、今後の経済動向等を加味しな

がら実情にあった対応をしてくださるそうです。四項については、税法上の取り扱いがむづかしく、不可能との事でした。

この不況は、早速には、回復が望めません。企業自身も現状が、普通の状況と考えると、経営体質の改善、企業の合理化等、努力していくのが、賢明と考えます。

国家百年の大計を！

春会
新講

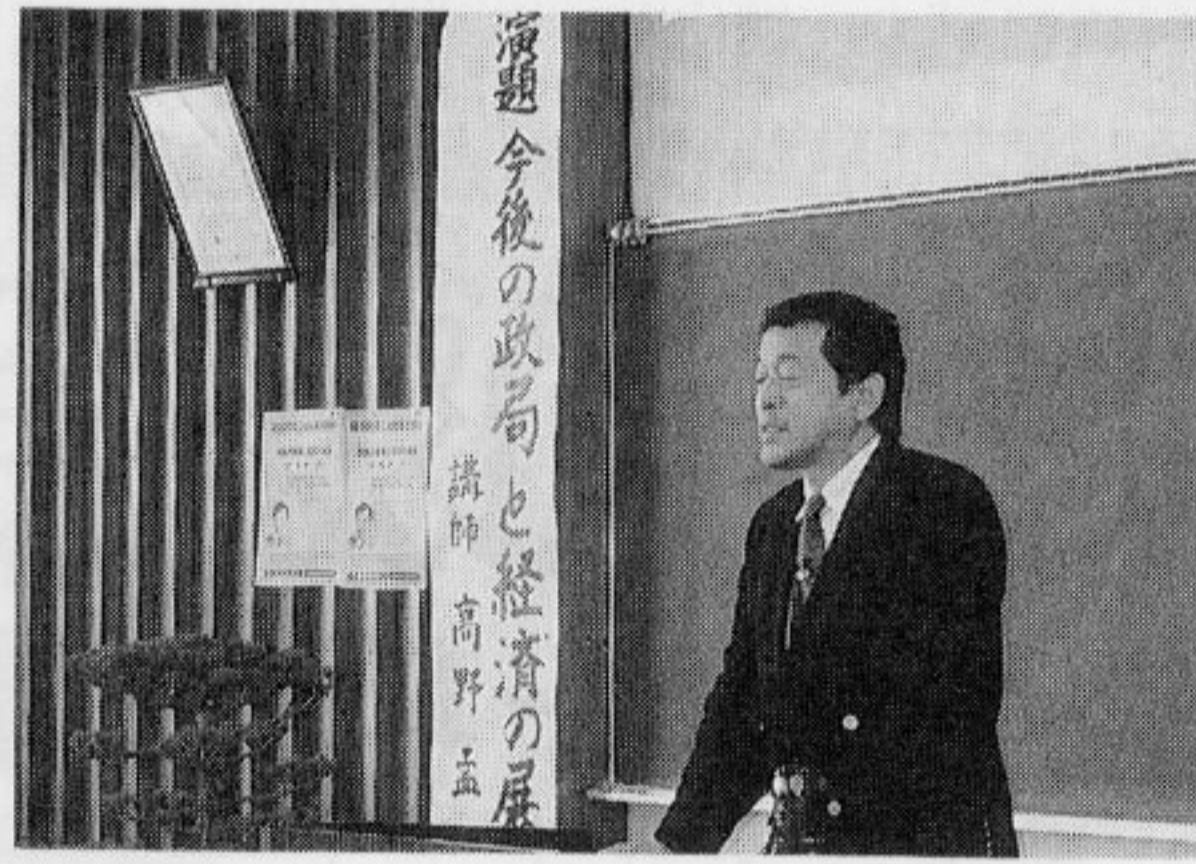
一月七日、阿智村商工会恒例の新春講演会が、政治評論家でテレビのビッグモーニング、サンデープロジェクトにレギュラー出演の、高野孟先生を講師に迎え開催されました。

(講演要旨)

先ず現在は世界中の政治が新旧交替の時期である。ヨーロッパではドイツ、ロシアの変革、EC経済の統合が進みアメリカでは四十六才のクリントン大統領によりナフタの発足、軍事一辺倒の政治の是正、アジアではタイ、韓国等の変化、日本では三十八年間続いた自民党の一角独裁政治の崩壊、細川内閣の誕生に見られる。

何でも揃ったデパート方式の自民党政治から、政治改革一プロジェクトの細川内閣に変わった。細川内閣が命運をかけた政治改革は、衆議院を通過し二ヶ月を経てもまだ参議院で無駄な日々を送っている。これでは参議不要論が益々高まるのも当然である。

今後は政治改革の進行について、自社共に分裂が進み、各々政策的な共通点を見つけ、同志的な結合をし、戦後五十年になる九十五年に向けて政治の仕組みが整ってくる。



講演する高野孟先生

一方経済は、現在の電気製品や自動車の様に、今までは色々な品目の駅伝で稼いで来たが、今のところ次の新しい品目が見当らない。欧米に追いつけ追い越せの百年は終り、貿易の黒字は自然に減る。

これからは、景気対策よりも政治改革が出来、その土俵の上で中長期的な国家システムの方向が見えてこそ、新しい投資や雇用が生まれてくる。そこで二十一世紀へ向けて百年の大計を考える時である。と百人余りの聴衆を前に講演を終わった。

企業探訪

No.24

有限会社木下リネンサプライ

厳寒の1月中旬、久しぶりにポカポカ陽気の朝、木下社長さんに話を伺いました。

《代表者》 代表取締役 木下 修

《創業》 昭和55年7月
(その後、昭和61年1月に法人改組し、現工場に移転)

《資本金》 1,140万円

《従業員数》 男5名、女15名(村内在住者7名)

《主な取扱い業務》

◎一般クリーニング業



最新鋭機を入れた作業

◎旅館・ホテル等の寝具類のクリーニング・リース業

◎ホーム・ケアサービス業(介護福祉機器のリース消毒・殺菌受託業務)

当社では、現在、旅館、ホテル等のゆかた、シーツ、枕カバーをリースして、それをクリーニングする仕事を主としています。

また、最近では高齢化社会の到来を迎えて、病人用ベッド等の介護機器の消毒・殺菌を市町村と委託契約をして、病人家庭へ配付する業務も始めました。

商圈は、南は土岐、北は諏訪方面までも、圏域に入れ、巾広く営業を行い、特に昼神温泉の旅館・ホテルの7割近くと取引をしております。

従業員さんも年々増え、現在、規模拡大の為、工場を増築中です。

また、社長さんの会社の利益を従業員に還元という考えの中、月1回のボーリング大会や年1回の社員旅行は従業員さんの定着にも大いに貢献しております。

今後は、昼神温泉は元より阿智村に密着した企業づくりをすすめ、大いに村に貢献していきたいと語ってくれました。

《会社のモットー》

清潔・美・福祉の未来をみつめる

シリーズ 我が家の秘蔵写真 第十六回

(冨下吉田屋商店の塚田武さん、二代目。当初、下町二丁目の店舗で、食料品・酒の小売をしていましたが、昭和三十年に、店舗を大きくし、現在地で商いをするようになりました。写真は、昭和三十二年頃の



店舗内風景。当初は、冷蔵庫も無く、干物がほとんどで、お客様の注文によって、量り売りをし、新聞紙の袋や茶色の袋に入れて販売しました。最初に、冷蔵庫を入れた時は、当時の金で、三十万円位。



商工会も無く、金融機関も貸出しが厳しくて、信用金庫の本店へ行って貸出しをしてもらった時は、ほんとうにうれしかったそうです。当時、初売りは、二日の早朝、各店が競い合って、売り出しをし、お客様も、心得たもので、あちこちの店へ寄っては、お年玉をもらい、商店街も活気がありました。暮れは、二十九日、三十日

三十一日とおお忙しで、青色申告を始めた年には、大晦日、閉店になってから、棚卸しをしていて居眠りをしてしまい、除夜の鐘を聞いて目が覚めた事もあったそうです。もう一枚の写真は、住民の唯一の憩いの場、城山公園で今は無い木製のスベリ台。日曜・祭日などは、家族づれで賑わったそうです。

(塚田武さん所蔵)

- ①昭和三十二年頃の店舗。缶詰が棚にキレイに並んでいる。手前は量り売りの干物ケース。
- ②住民憩いの場・城山公園。今は無い木製スベリ台

信金だより

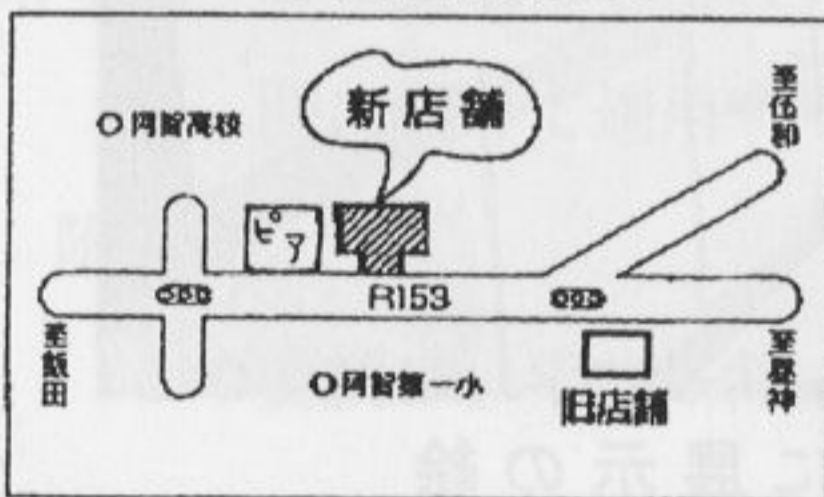
「三月二十二日(火) 新店舗オープン」

当支店では、かねがね駐車場が狭く、ご迷惑をおかけしておりましたが、この度、アチショッピングタウン「ピア」さんの隣りへ、店舗を新築移転し、来る二十二日に開店する運びとなりました。明るく広い窓口で、職員一同みなさま方のご来店を、お待ちいたしております。新店舗開店感謝デーとして、開店から三日間、記念預金の取扱いと、ご来店のお客様には、粗品をご用意いたしております。どうぞ、ご近所

お誘い合わせのうえ、お気軽にご来店ください。今後ともよろしく願い致します。

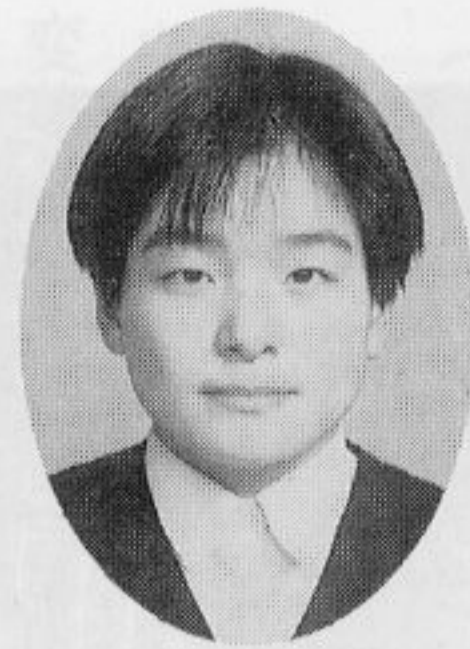
しんきん 駒場支店
3月22日(火) 新店舗オープン

駐車場も広くて安心!



珠算検定合格おめでとう

二月二十日(日)に商工会館で実施した第九十六回全国商工会珠算検定試験の合格者は次の皆さんです。



1級合格の玉置伸子さん

- 一級 玉置伸子
- 二級 木下貴子
- 三級 河合隆史 熊谷麻衣

- 子 原田直 田中沙
- 織 辻元紀子 米沢
- 彬子 安藤辰徳

- 四級 玉置はるみ
- 五級 原照幸

- 六級 今井智美 林千絵美
- 水上光 原和香奈

- 七級 菱田麻美

今回の受験者は九十一名、合格率は一七・六%でした。次の検定試験は、六月十二日です。

子供の夢を絵に!

下町広場の有効活用

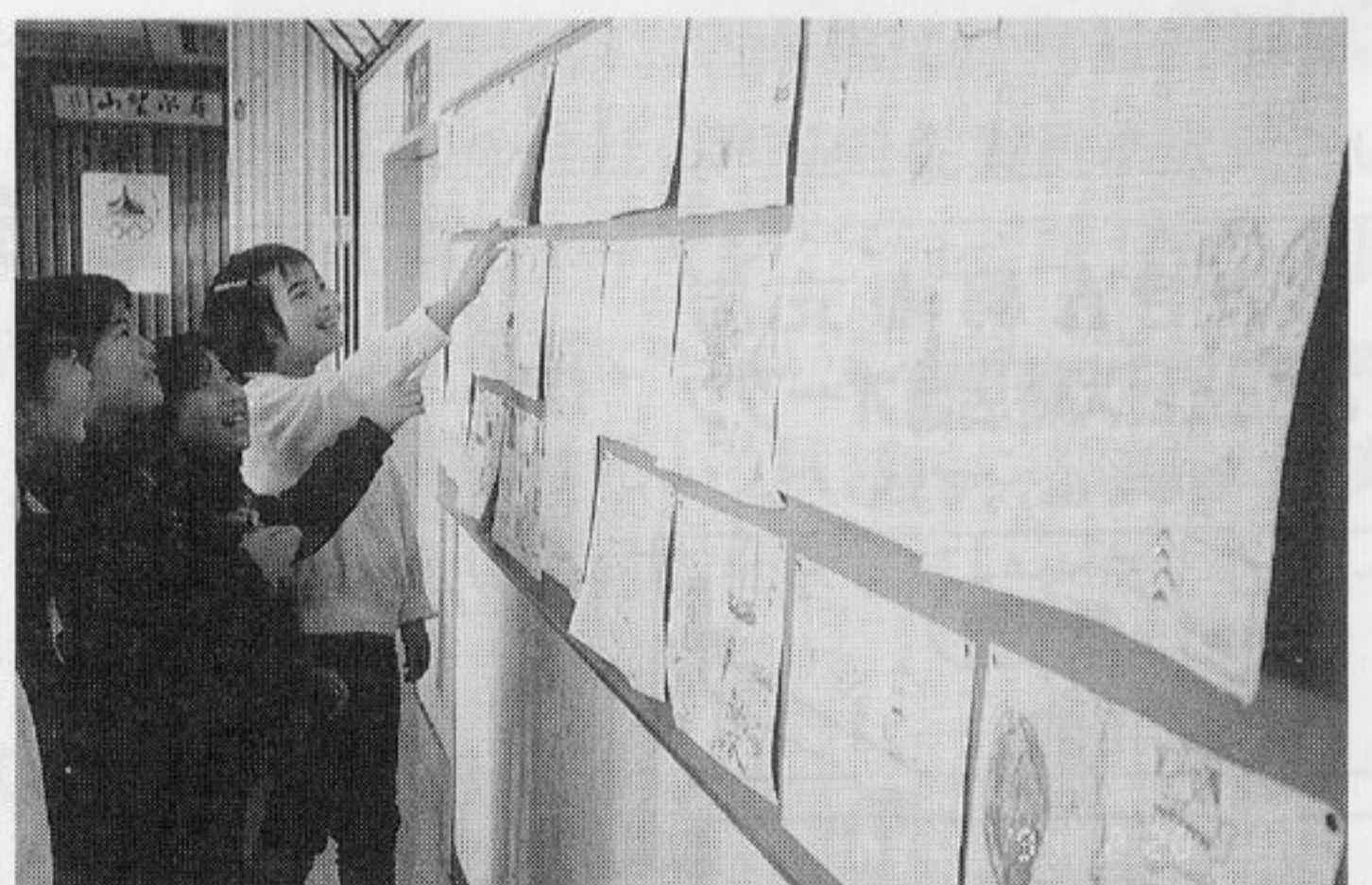
十二月十七日(金)、阿智第二小学校三年生の児童が、社会科学習の為、商工会を訪れました。

南先生を始め、生徒二十一人は、商店街の成り立ちや、商工会の事業について勉強中で、話を聞いたり、現地を見たりして、子供なりに、何かを感じとった事と思います。その中で、現在、商工会と地域が一緒になった「こまんばまちづくり研究会」が提言している下町広場の有効利用について

供達が、夢のある公園を絵に書いて送ってくれました。

高齢化社会を向かえた現在の子供達の

夢も大いに参考にする必要があるのではないのでしょうか。子供達の絵は、商工会館二階に展示してあります。



商工会館に展示の絵

生活リフレッシュ

副部長 岡本 多美

何年振りかの大雪で、冬景色も一段と輝しく見えます。毎日のニュースは、新聞もテレビも構造不況で何時光が見えるのか、不安ばかりです。そうした中での仕事は、知らず知らずに冬空の寒さに増して、疲れ切っています。去る一月二十一日の商工会婦人部の下条村商工会との合同講演で、トータルヘルス

アドバイザー阪口由美子先生のお話しを聞き、いかに「リフレッシュ」を生活の中に取り入れて行く事の大切さを教

えて頂きました。

常日頃、生活に追われていきますと、身体の手入れも疎かになりがちですが、改めて、家族と自分の健康をチェックして見ようと思えます。

講演の中で、私が一番、興味を持ったのは、「背骨のゆがみと内蔵の関り」でした。

背骨をこぶし

で軽く上から下へ拍く、アールと声を出しながら、悪い所では、声かふるえて見つけ出せる。「えっ」と思いながら、



ハイ、うしろに手を組んで

交流会では、舞踊あり、唄あり、ダンスありで和やかに時間を忘れてしまいました。この数時間の「リラックスマス」した気持ちこそ「リフレッシュ」そのものなのか?

先生に教えて頂いた事を思い出し、明日からの生活に「ファイト」を燃やす事が出来ればと思います。

編集後記

久しぶりの大雪と、波乱に満ちた国政の下に村では首長の交代により新しい村政がスタートした。それに伴い当会の運営に長年御尽力いただいた事務局長の奥沢さんが村の収入役に選任された。この御就任に先ず以って心からの敬意を表したい。

一方納税申告と、年度切り替えの時期に突然局長の空席は、会にとって大きな痛手である。

一日も早く後任の選定がされなければならず、その間事

務局職員全員に結束的努力が強いられることは云うまでもない。

今こそ、会員、役職員一体となり、知恵と努力で事態を乗り越えなくてはならない時である。

新旧局長の御挨拶を次号に掲載させていただきます。掲載させていただきます。会員皆さんからの投稿を期待しています。

編集委員長 園原 峯正

